

——4年間の間で、グループ展を5回。個展を3回行ってますが、その行動力はどこから湧いてくるのでしょうか？

自分の性格なのかな？一年に一回は何かをしたいんですよ。足を止める事が嫌なんです。2021年のAbox展はコロナの影響で延期になった。それで2021年に作品を発表できる場所が無くなってしまって、これで一年が終わるのは嫌だと思って、個展「道標」を開催しようと決めました。個展をする為の作品は何年も前から、額入れした作品を用意していた。もう少し作品を増やせば、なんとか開催できるんじゃないか？と思って、すぐに個展会場に考えていた市民プラザに電話しましたね。それから審査があって、話が通って開催が決まりましたね。個展「道標」では、60点ほど展示をして、有難いことに半数ほど販売することが出来ました。初めて、自分の個展を見に来て下さった方にも購入して頂きました。実は、自分は絵を描くように作品を作っているんです。そして会場で作品を見て下さった方に、「絵を描いたような写真だね」と言われて、自分の作品への思いが伝わったと実感できて、すごく嬉しかった。それに売れた時の高揚感があるから、次に繋がる活力になるんです。

—— 2021年のAbox展でも個展でもsUmさんは額装にこだわってますよね？

額装が好きなんです。美術館でも展示されている作品も見ているんですが、額装にも視線を向けてしまいますね。自分にとって作品の完成は、写真を紙に焼いて終わりでは無いんです。額装して初めて作品として完成する。そう考えているんです。もちろん、額に負けないといけない作品を作らなければいけないですけどね。



額装にも、展示にもこだわりを持つ。
中途半端な事はしたくは無い。